

## 中国地区品質経営協会 シンポジウム

# 組織活性化・人材育成

### ー参加のお勧めー **イノベーション・マネジメントシステム (IMS) :** **イノベーションを可能にするマネジメントシステムに QMS をアップグレードするためのフレームワークとは**

組織活性化・人材育成シンポジウムは「イノベーション」と「組織の継続的な成長」をテーマに開催します。

今やイノベーションという言葉を見聞きしない日はないというほどに、イノベーションの重要性及び必要性は高まっています。カーボンニュートラルや SDGs などの困難な目標達成にはイノベーションの実現が不可欠です。一方、多くの企業は自社のイノベーション活動の成果に満足していないという結果も出ています。既存事業の成長・拡大(1→10)を前提に最適化されたシステム(品質経営システム:QMS)は、不確実性が高く、柔軟性が求められるイノベーション活動(0→1)にはシステムとして対応できないという現実があります。そこで求められているのが、QMS で(1→10)を追求すると同時に(0→1)を可能にするマネジメントシステムへのアップグレードです。このアップグレードを可能にするのが、イノベーション・マネジメントシステムです。

**講演①では一般社団法人 Japan Innovation Network 様**より、イノベーションを継続的・持続的に興していくための仕組みであるイノベーション・マネジメントシステム(IMS)の国際規格 ISO56002:2019(ガイダンス)に関して講演いただき、今なぜ組織的なイノベーション活動が必要なのかを世界のイノベーションの潮流も交えてお話しいたします。

**講演②では沖電気工業株式会社様**より、OKI の「全員参加型イノベーション」について講演頂きます。2018 年に構築された OKI の IMS“Yume Pro”では一握りの天才が興すイノベーションだけではなく、一人ひとりがイノベーション活動を自分ごとと捉え行動する「全員参加」を実践されており、その取り組みについて事例を交えお話し頂きます。

また、当協会 高橋副運営委員長のコーディネートによるパネルディスカッションとして、参加者の皆様からの質問にお答えする形で講師の方々との意見交換を行いたいと考えています。皆様の参考となるシンポジウムになるものと思います。皆様の参加をお待ちしております。

- ◆ 日 時 : **2023 年 12 月 8 日 (金)** 13:20 ~ 17:00
- ◆ 会 場 : 広島商工会議所 101 会議室 及び Zoom による Web 配信 (選択可)
- ◆ プログラム :

#### **第一部 講演① (13:25 ~ 14:25)**

『テーマ: **イノベーション・マネジメントシステム (IMS) 時代の到来**』

一般社団法人 Japan Innovation Network 理事 真野 毅 (まの つよし) 氏

同 イノベーション加速支援グループ ディレクター 尾崎 弘之 (おざき ひろゆき) 氏

#### **第二部 講演② (14:35 ~ 15:35)**

『テーマ: **全員参加型で実践する OKI のイノベーション・マネジメントシステム**』

沖電気工業株式会社 執行役員(イノベーション責任者) 藤原 雄彦 (ふじわら ゆうひこ) 氏

#### **第三部 パネルディスカッション (15:45 ~ 16:55)**

- ・一般社団法人 Japan Innovation Network 真野 毅 氏 尾崎 弘之 氏
- ・沖電気工業株式会社 藤原 雄彦 氏
- ・中国地区品質経営協会 高橋 勝彦 副運営委員長 (コーディネーター)

■講演者/講演要旨 紹介

<講演①>

【講演者】

◇ 真野 毅 氏

(一般社団法人 Japan Innovation Network 理事)

[略 歴]

大阪府立大学工学部卒業後、京セラ入社。海外営業を担当後、米国ワシントン州立大学ビジネススクール(MBA)に留学。帰国後、創業者稲盛社長の下で、ベンチャー投資、JV、M&A 等を通じて事業提携をスタッフとして担当した後、買収した米国クアルコム携帯電話会社を社長として経営。

31年の民間企業経験の後、公募で兵庫県豊岡市副市長に2009年就任。豊岡市に市民参加型の政策評価を導入し、行政と民間企業との協働を推進。2期8年の間、地場産業の産産の活性化や城崎温泉のインバウンド拡大に取り組む。

在職中に、明治大学ガバナンス研究科と京都産業大学大学院マネジメント研究科博士後期課程を修了。2018年4月より、長野県立大学グローバルマネジメント学部教授に就任し、現在は同大学専門職大学院ソーシャルイノベーション研究科教授として、社会起業家の育成に取り組んでいる。



◇ 尾崎 弘之 氏

(一般社団法人 Japan Innovation Network

イノベーション加速支援グループ ディレクター )

[略 歴]

米国シートンホール大学 外交・国際関係学修士卒後、国連工業開発機関(UNIDO)のニューヨークオフィスにて、持続可能な開発目標(SDGs)の策定に関わる国際交渉に2013年より参画。SDGs 制定後はSDGs 達成に向けた国連機関間でのタスクフォースに参加し、コーディネーション業務や国連加盟各国との連携業務を担当。

2019年9月よりJINにて、ISO56000シリーズ(イノベーション・マネジメント)に関わるISO 国際交渉や国内審議委員会の事務局を担当。イノベーションエコシステムに関する海外ネットワークとの連携、個別企業向けのイノベーション加速支援活動、イノベーション・マネジメントシステムの教育プログラムであるIMSAPスタジオ等に従事。



【講演要旨】

品質経営に最適化されたシステム(QMS)を、イノベーション活動をより組織的に行うためのシステム(イノベーション・マネジメントシステム:IMS)+QMS にアップグレードすることで、「体系的なイノベーションによる組織の継続的な成長」を実現することができます。IMS の国際規格であるISO56000シリーズの国内審議団体を務めているJINだからこそお話しできる世界のイノベーションの潮流となぜ今日本企業にIMS が求められているのかについて、まずはイノベーションの定義やIMS とはどのようなコンセプトかについても説明します。そして、ISO56002 の概要解説や導入事例紹介も行いながら、IMS の重要性やISO56002 の中身についても理解していただきます

<講演②>

【講演者】

◇ 藤原 雄彦 氏

(沖電気工業株式会社 執行役員(イノベーション責任者))



[略 歴]

1987年3月 武蔵工業大学 卒業  
 1987年4月 沖電気工業株式会社入社  
 1995年4月 同社 通信ネットワーク事業本部 第一基幹ネットワーク事業部 実装技術部実装第課第三係長  
 2002年4月 同社 ネットワークシステムカンパニー NWシステム本部NWシステム商品開発部 BBシステム-PMチームリーダー  
 2003年4月 同社 ネットワークシステムカンパニーメガキャリアビジネス本部パートナービジネス部長  
 2008年4月 同社 情報通信グループ通信ビジネスグループ(NSC) ネットワークシステム本部サービスプラットフォームマーケティング部長  
 2011年10月 同社 通信システム事業本部共通技術センター長  
 2017年4月 同社 情報通信事業本部 IoT アプリケーション推進部長  
 2019年4月 同社 経営基盤本部イノベーション推進部長  
 2020年4月 同社 イノベーション推進センター長  
 2021年4月 同社 執行役員 イノベーション責任者(現)兼 技術責任者  
 2023年4月 同社 イノベーション事業開発センター担当(現)

【講演要旨】

OKIでは、2018年から、ISO56002に則したイノベーション・マネジメントシステム(IMS)“Yume Pro”を始動しており、一握りの天才が興すイノベーションだけではなく、システムチックに新しい価値を生み出すイノベーションとして、「新規事業の創出」「既存事業の革新」「業務プロセスの改善」までをイノベーションと定義し、一人ひとりがイノベーション活動を自分ごとと捉え行動する「全員参加型イノベーション」を実践しています。OKIのIMSでは、既存のQMSと連携したプロセスとすることで、試行錯誤を高速に行いつつ、高い品質/価値を提供するYume Proプロセスを運用しています。全員参加型で実践するIMSから生まれた共創事例を交えながらOKIの取り組みを紹介いたします。

■パネルディスカッション コーディネーター紹介

◇ 高橋 勝彦 副運営委員長

(広島大学 大学院先進理工系科学研究科 教授・工学博士)



[略 歴]

1994年 広島大学 工学部 助教授  
 2001年 広島大学 大学院工学研究科 助教授  
 2003年 広島大学 大学院工学研究科 教授  
 2020年 広島大学 大学院先進理工系科学研究科 教授

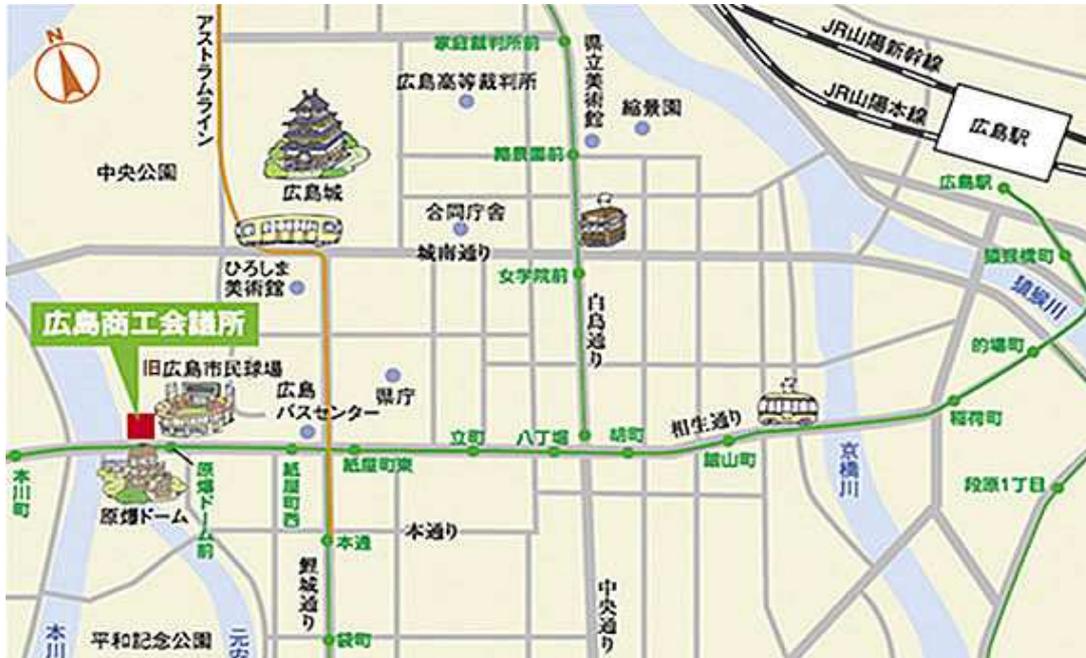
[主な役歴]

デミング賞審査委員, 日経品質管理文献賞選考委員, 日本品質管理学会理事,  
 日本MOT学会編集委員, 中国地区品質経営協会副運営委員長他

■会場案内

広島商工会議所ビル 1 階 101 会議室

広島市中区基町 5-44 TEL (082) 222-6610 (代表)



- ・相生通り(国道 183 号線)沿い原爆ドームの向かい。
- ・路面電車①②③⑥⑦系統、各社バス/アストラムライン利用の場合は、原爆ドーム前、紙屋町、広島バスセンター県庁前等で下車。

■参加要領

【会場定員】 広島商工会議所 101 会議室 定員 100 名 Web 配信には定員はありません。

★本年より会場での講演を復活しました! 是非、直接会場で講演者の生の声をお聞きください。

【参加費】 ①会員会社 無料 ②非会員会社 3,000 円/人

【申込締切日】 2023 年 11 月 17 日 (金)

【申込方法】 参加申込書に必要事項を入力の上、Eメールにてお申し込み下さい。

※ 申し込みは、「エクセル書式」のままで送信して下さい。

※ 参加者が 15 名を超える場合は新たな申込書のファイルを作成してください。

■ご参加にあたっての注意事項

- 1) 録音・録画は禁止となります。
- 2) Zoom で参加の方は PC 等の機器・N/W 環境等を確認して下さい。
- 3) 参加者様全員に Web 配信用 URL 後日メールにてご案内いたします。 視聴場所(社内自席で視聴、社内会議室に集合して視聴、自宅で視聴等)は各参加者様が選択いただけます。
- 4) 会場参加をご希望の方にも Web 配信用 URL を発行します。当日、会場参加が難しくなれた場合、Zoom で参加いただくことも可能です。

以上